

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中郵支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 4524  
25年2月21日(金)  
Tel・Fax 095-828-1953  
文責 支部書記長

# 春闘アンケート 集約結果

おはようございます。

郵政ユニオンは2月7日の中央委員会で春闘方針を決定し、2月14日に賃金引き上げに関する要求書を提出しました。春闘要求は賃金要求だけではなく、職場での様々な問題点も踏まえ要求を行っています。

昨年10月から年末にかけて取り組まれた春闘アンケートでは、長中局支部でも組合員だけでなく他労組、未組織の労働者にも春闘アンケートにご協力頂きました。

本部発行の郵政ユニオン機関紙に集約結果が掲載されているので一部抜粋して「未来」で紹介いたします。

## 分析結果

### (非正規社員編)

正社員化を早急に  
2015年には29.4%だった勤続10年以上

上の割合は58.5%とほぼ倍加し、増加傾向は継続しています。

アソシエイト社員の割合は77.8%と横ばいです。会社の収入が主な生活費となっている人は若い世代ほど高い割合を占めています。アソシエイト社員に有給の病欠休暇や夏期冬期休暇の付与など処遇改善はありましたが正社員との格差はまだ存在します。希望するアソシエイト社員を転換後2年で正社員に登用し、正社員の処遇を下げることなく、非正規社員の労働条件の引き上げが必要です。



### 大幅な労働条件改善を

生活実感では「かなり苦しい」「やや苦しい」が66.7%となり、昨年の71.0%よりも減少し、「まあまあだ」の回答が4%増えています。年間収入では、「減った」と答えた人が14.3%で昨年の18.9%から減少

し「増えた」と「変わらない」を合わせると85.5%になります。これは、最低賃金の目安額制度が始まって以来、2年続けて過去最高の引き上げ額の影響を実感している結果と考えられます。

しかし、年間収入が増えたにもかかわらず生活の厳しさを多くの社員が訴えています。地域間格差をなくし、全国どこでも今すぐ1500円、目指せ1700円を25春闘で実現する必要があります。

### 3桁時給アップ必要

時給制契約社員の時給引き上げ要求額では、「100円以上」を求める声は昨年よりも増え8割に迫る勢いです。月給制契約社員は「5万円以上」を求める声が29.2%にも達しています。これは声を上げれば変えられるという意識の醸成ではないでしょうか？

### 要員不足のツケ回すな

職場への不満、不安では今回も「要員不足」が連続して1位となりました。「賃金が安い」が2位、年代が上がるほど不満に

感じている「正社員との格差」が3位となり、昨年と同じ傾向です。若い世代では「正社員登用」が3位となり他の世代とは異なる傾向です。



## 分析結果

### (正社員編)

### 依然6割以上が生活苦

生活実感では「かなり苦しい」「やや苦しい」が62.0%と昨年より5.7%低下しています。「まあまあだ」が33.7%と昨年より4.6%上昇していますが、賃上げがあったものの物価高騰に賃金が追いついていないのが実情です。

### 是非とも1〜3万円増

「生活改善に向けていくらか必要か」では、5万円以上を望む声が過半数を超えています。賃上げ要求額では1万円が最高の30.8%を占め、1万円から3万円が全体の三分の二を占めています。

### 相変わらず要員不足

今の職場への不満、不安に感じる事は「要員不足」が24.4%、「賃金が安い」が17%、「職場の将来」が15.2%と昨年とほぼ同じ結果となっています。年代別では「賃金が安い」が10代、20代、30代でトップとなり、若年層の賃上げが急務であることを示しています。

### シニアスタッフ

65歳定年制が導入されフルタイムで働く社員が昨年よりも1.9%増えています。60歳以前と変わらぬ仕事をしているにもかかわらず給与が大幅に減額され、生活実感としては「かなり苦しい」「やや苦しい」が92.2%に上り厳しい生活になっています。25春闘では定年まで安心して働き続けられる労働条件の確立と、賃金の大幅引き上げが必要です。

この他、春闘アンケート用紙の裏面には今年もたくさんのお意見が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。

めいめい、均等待遇、なげんご差別！ ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の  
ホームページはこちら

